

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	山内 英嗣	学校名	愛知県豊田市立飯野小学校
実施学年	6 年生	教 科	国語
単元名	人物どうしの関係について話し合おう「風切るつばさ」		

《学びを深めたいポイント》

- ① 場面ごとに中心人物と対役を教えた上で登場人物の関係を図と矢印でまとめる。
 - ② まとめた図から場面要約をする。
 - ③ 子どもから出た問いについて議論する。
- (参考書籍 国語教科書の読解力は「図読法」でつける 椿原正和著 学芸みらい社)

《SKYMENU 活用のポイント》

- ① 1枚目の発表ノートは教師が作成し、例示する。
- ② 画面表示機能を使って、仲間の図を参考にする
- ③ 気づきメモを使って、子どもたちの問いについてチャットとリアルで2つで議論をすることで、話すことが得意でない子どもも学びに参加できる。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	1 教科書を音読する 2 場面分けをする (時間経過を軸に5場面に分ける)	発表ノートでワークシートを作成しておく。	中心人物のカララは、同じ色にして左側に配置する。
展 開	3 全員でやり方を確認する。 カララはそのまま。右側にある対役(クルル)は場面によって変更する。 1場面ならば、アネハヅルの群れにして、クルルに対して言った台詞について矢印を使って図に書く。 書き終わったら場面にタイトルをつける。 4 個別かグループに分かれ	授業開始にして、ワークシートを配布。提出ボックスも作り、提出物も閲覧できるようにする。また、教師の端末で画面一覧を出し、プロジェクトで表示する。 	ここで、先生と学ぶコース、グループで学ぶコース、一人で進めるコースに分かれ机ごと隊形移動させる。 1人で学ぶ子も推奨する。 子どもたちは、誰かと学びたがるが、話し合ってもよいけれど、他者参照しながら一人で学ぶ大切さも教える。 提出物が閲覧できることで、わからない子は仲間のシー

	て作業する。 5 議論したい内容を子どもたちの話し合いの中から抽出し、議論する。	議論内容は、本時では、終盤に書かれていたクルルの「覚悟」とは何か、死なのか、きつねに食べられることなのかを気づきメモのグループと対面の議論の2方向で進めていった。 	トを見ながら完成させる。教師は一切教えない。 議論は、チャット参加もできるが、自分が話し合いたい内容を発信した子のところに行って話し合うように指導した。
まとめ	6 本時で学んだことを気づきメモに入力し、評価し合う。	気づきメモのグループワークでよい意見についてコメントしあえるようにする。	いいねという言葉だけでなく、何が価値あるふりかえりワードなのかを伝えられるように、継続して指導する。

《実践を振り返って》

子どもたちには、学び方を教えている。まず全体での話し合いの仕方、課題の立て方、ふりかえりの書き方などを4月から順にステップアップしている。

6月では、自分で学び方を選び、自己調整しながら、深められるビジョンをもっている。

SkyMenu の優れてるところは直感で気に操作できること、図や矢印をすぐに引き、画面を一覧にしてスクリーンに出せるところにある。

また、提出物を他者参照できるので、自分の考えと似ている人、異なる人を探し、議論もできる。

